

レポート学校から

学校生活の充実を願つて……

心はづむ毎日を！

るという教育を基本としている。

地域に学ぶ教育の展開

会津若松市立神指小学校

今、県内の各学校では、時代の変化に対応し、子どもの毎日の生活を夢とするおいのあるものにしようと、様々な「学校づくり」への努力が続けられています。

今月号では、「レポート・学校から」の総集編として県内各地のいろいろな教育活動をお伝えします。

なお、ここで取りあげた学校（一部）については、グラビアページの写真でも紹介してありますので参考して下さい。

小さな夢をたいせつに

福島市立清明幼稚園

清明幼稚園では、園児たちが広場狭いと飛び回っている。ここでは、「遊び」と社会性をテーマに遊びを通してのさまざまな体験から、集団の中の規則や思いやり等の社会性を身につけさせている。手づくりの「ごっこ遊び」に登場した食べ物屋さんやおばけやしき、おみこしは子どもたちに喜びと自信を与え、生き生きとした園生活をおくらせていている。

地域の変化にあわせた教育

郡山市立河内小学校

河内小では、近くに「県総合緑化センター」（昭和五十年）ができる、それを多面的に利用した教育を開拓している。野山の観察は、センター内の公園で実施しているが、県内各地の草花を一ヵ所で学ぶことができる。またセンター開所とともに、近隣の緑化、整備にあわせて学校美化を積極的に展開している。それも明治七年開校という伝統と歴史を重んじ、地域との連携を大切にす

いっぱいの環境づくりをし、自然の観察、花を愛する心の育成、生涯教育を実践している。なかでも美術教育では

心のかよい合う学校づくり

梁川町立梁川小学校

梁川小では、毎月十五日を「おたよりの日」とし、この日は子どもたちが教師に何でも訴えたり、知らせたりできる交流の日としている。また、「自由あそびの時間」をとり、全員で、仲間はずれをしない、ゆずりあう、じやまをしない等の約束をして、できるだけ規制をせず、自由に遊ばせている。その結果、学年に応じた楽しい遊びの広場づくりや子どもの心の微妙なサインを注意する指導が成功している。

能力、適性に応じた体力づくり

北会津村立荒館小学校

荒館小では、全校あげのすもう大会を、地域の指導者の協力を得て実施している。また、子どもたちがきめた遊びを取り入れた業間運動、水泳指導等、年間を通した万遍ない体力つくりの指導に力を入れている。そのためには教師の意識の改革が必要であり、本校では様々な指導法の研究を深め、教師が自信をもつて指導にあたっている。

心と体を練り鍛える教育

会津高田町立高田小学校

高田小は、「緑と花と実のなる木」とともない、近隣の緑化、整備にあわせて学校美化を積極的に展開している。ま

神指小では、歴史豊かな地域性に着目し、地域との連携、コミュニケーションを図りながら様々な活動を行つていている。ケヤキタイム（神木）は創意の時間であり、運動会では各地の歴史を題材としたミコシの競争、地域老人会と提携した菊の一人一鉢運動、サルビア栽培、学級会でのみしらず柿のほし柿づくり等。遊びの学習でも遊びそのものより、父母や祖父母から昔を学ぶというプロセスを重視して指導している。

楽しい給食、得意なスキーリ

檜枝岐村立檜枝岐小学校

檜枝岐小の子どもたちはスキー得意です。スキー指導は村をあげて行われ、指導員の熱意が技術の向上を支えている。この元気いっぱいの子どもの活力の源は、楽しい給食である。精密な給食個人カルテによるデータ、子どもを中心の給食委員会の準備、お互いの世話、お楽しみコーナー等、様々な工夫をもとに、全教職員が子どもと一緒にテープルで、家のこと、今日楽しかったこと等をぎやかに話し合いながら給食時間をすごしている。

生活に結びついた家庭科教育

いわき市立長倉小学校

長倉小の家庭科教育は、生活科としての主体的学習に力を入れている。また、実践なくして家庭科はないとしている。